

## 研究課題

# 小・中学校の継続性・系統性ある教育活動の推進

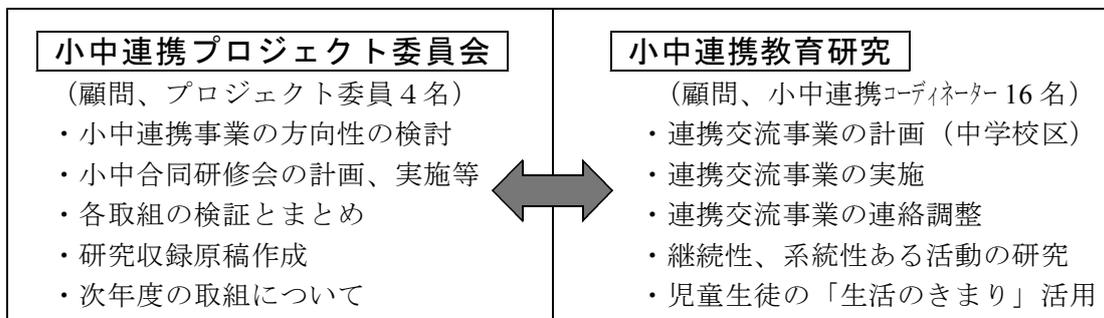
## 1 基本方針と研究推進の方向性

### 1 ねらい

- (1) 小中学校の指導法の継続性、学習内容の系統性のある教育活動を推進し、教育活動全般における教育効果を高める。
- (2) 小中学生の異年齢交流により、児童生徒の社会性や感性を育む。
- (3) 小中学校の教員が、それぞれ異校種における教科指導や生活指導等を経験し情報交換することにより、発達段階に応じた教育内容や指導方法の工夫ができるようにする。

## 2 研究内容

- (1) 小中連携コーディネーターを中心に、交流授業、教員1日交流、小中合同研修会を企画実施し、自校の教育に生かす。
  - ① 小中それぞれの教育観、教育活動を知る。
  - ② 教科内容の系統性を確認する。
  - ③ 互いの指導法の良さを知る。
- (2) 教員の積極的な交流を図り、生活面における児童生徒の適切な指導について共通理解を図る。
  - ① 児童・生徒指導の継続性について、情報交換する。
  - ② 個人情報の有効活用によって、個に応じたきめ細かな支援を円滑に接続する。
- (3) 異年齢の子どもがふれあうことにより、社会性など様々な感性を育む。
  - ① 児童・生徒が環境の変化に対応できるよう、柔軟な心づくりに努める。
  - ② 小学生が安心して中学校へ進学できるよう、早期より中学校の教育活動内容に慣れるよう工夫する。
  - ③ 小中学生が合同で行う活動を取り入れ、思いやりやあこがれの気持ちを育て、子どもの主体的な活動の活性化を図る。



児童生徒のよりよい成長のために

教職員間の連携強化	児童生徒の交流
☆小中学校の教師が連帯感を高め、小中学生を共に育てようという意識をもつために  ○教職員の交流① (1日交流：中学校区における交流) ○教職員の交流② (小中合同研修会) ○研究授業等の公開 ○「生活のきまり」の活用 →9年間の段階に応じた、継続的指導	☆小学生にとっては中学生への憧れの気持ちや中学校への期待をもてるように、中学生にとっては、自己有用感をもてるように  ○合唱等の発表会 ○6年生への中学校案内 ○子ども未来プロジェクトの活動 合同清掃活動・合同あいさつ運動等 ○中学校体育祭・文化祭等への小学生の招待 ○部活動体験 ○小中合同授業・体験授業

## 2 具体的な取組

### 1 中学校区における教職員の連携研修の実施

#### (1) 小中教員交流研修（市内全中学校区内での交流）

##### 【内 容】

- 中学校区ごとに、小学校の教員が中学校で、中学校の教員が小学校で、それぞれ1日を通しての学校生活の体験交流を行う。
- 授業内容の系統性に加え、発達段階を踏まえた生活面での指導の違いや系統的な指導の必要性を確認し、情報交換を行う。
- 授業参観に加えて、T2で授業に参加する。（中学校教員はT1での授業も行う。）

#### 【平成27年度 交流教員】 小学校…12名 中学校…12名 計 24名

	学校名	交流教員氏名	交流先	交流日
小学校 ↓ 中学校 ↑	1 薬師寺小学校	野口 貴史	南河内中学校	6 / 22 (月)
	2 吉田東小学校	中島 智子	〃	6 / 23 (火)
	3 吉田西小学校	亀井 友美	〃	6 / 23 (火)
	4 祇園小学校	飯田 麻奈	南河内第二中学校	7 / 14 (火)
	5 緑小学校	小林 利幸	〃	7 / 14 (火)
	6 石橋小学校	柳田 梓	石橋中学校	7 / 15 (水)
	7 古山小学校	齋藤 勇也	〃	6 / 23 (火)
	8 細谷小学校	上野 めぐみ	〃	6 / 8 (月)
	9 石橋北小学校	徳田 喜大	〃	6 / 8 (月)
	10 国分寺小学校	飯野 真由子	国分寺中学校	6 / 26 (金)
	11 国分寺西小学校	小嶋 徹	〃	6 / 30 (火)
	12 国分寺東小学校	佐藤 弘人	〃	6 / 29 (月)
中学校 ↓ 小学校 ↑	13 南河内中学校	増山 三枝	薬師寺小学校	7 / 3 (金)
	14 〃	猪瀬 亜喜子	吉田東小学校	7 / 13 (月)
	15 〃	横山 鮎子	吉田西小学校	7 / 6 (月)
	16 南河内第二中学校	長谷川 諭	祇園小学校	7 / 14 (火)
	17 〃	山本 千帆	緑小学校	7 / 14 (火)
	18 石橋中学校	長 栄一郎	石橋小学校	7 / 13 (月)
	19 〃	若色 孝至	古山小学校	6 / 15 (金)
	20 〃	須見 華子	細谷小学校	6 / 9 (火)
	21 〃	荒井 千尋	石橋北小学校	7 / 10 (金)
	22 国分寺中学校	柏崎 泰秀	国分寺小学校	7 / 3 (金)
	23 〃	森山 加奈	国分寺西小学校	7 / 2 (木)
	24 〃	小村 敬俊	国分寺東小学校	7 / 7 (火)

## 【感想】

### ①授業に関すること

- ア 教科の系統性を感じることができた。
- ・国語力が必要。小学校でも中学校でも、課題や問題を理解する能力に差が出る。
  - ・理科における実験器具等の扱いが苦手。学び直す必要を感じた。
- イ 授業形態を意識した継続的指導を行いたい。
- ・中学校では進んで話し合いに参加し、互いに教え合っている姿が見られた。
  - ・小学校でも自分で考える機会を増やす必要性を感じた。
  - ・クラス全員に聞こえる声の大きさを意識させるべきだと感じた。
  - ・話し合いの仕方を身に付けさせていきたい。

### ②生活に関すること

- ア 中学校での生活で、小学校の教員が感じたこと
- ・学校の雰囲気が温かく、楽しそうに生活していた。
  - ・落ち着いて生活し、自主的に動いている。特に時間を意識して行動できる姿は立派だった。
  - ・生徒に対して真摯に接しており、話し方も丁寧であった。
  - ・心と体が鍛えられていると感じた。
  - ・集中力を保つこと、話をじっくり聞くことができない。小学校からの指導を強化したい。
  - ・多くの先生方と連携して教育活動に当たる重要性を再認識した。
- イ 小学校での生活で、中学校の教員が感じたこと
- ・小学校のきめ細やかな指導があるから、中学校での指導が行き届くと感じた。
  - ・小中連携が進み、中学校を意識した指導を小学校で行っており、ありがたく感じた。
  - ・縦割り班で、上級生がリーダーシップを取っている。この経験が、中学校で生きているし、生かしていく必要があると感じた。
  - ・教室環境に、担任の創意工夫が見られ、落ち着いた雰囲気だった。
  - ・時間が穏やかに流れていた。中学校の生活でギャップを感じてしまう要因かもしれない。
  - ・言葉のかけ方や言葉遣いがとても丁寧で、褒めることを重視していた。
  - ・聞くことが苦手であると感じた。

## (2) 小中教職員合同研修会

中学校区・期日・会場	内 容
南河内中学校区 8 / 7 (金) 8:15 ~ 南河内東公民館	分科会協議・全体会 協議題「将来的な小中一貫教育を見据えた南河内中学校区の小中連携教育の充実」 ①管理職部会（学校経営・学校管理、地域連携、小中連携教育・小中一貫教育の推進） ②学力向上部会（学力調査活用、「家庭学習の手引き」、学校課題、学級経営、学業指導） ③児童・生徒指導部会（「生活のきまり」、「いじめ防止対策基本方針」） ④特別支援教育部会（校内体制、引継ぎ、個別支援・学習支援） ⑤英語・外国語活動部会（指導計画、ALT活用、英語担当教員交流） ⑥保健・教育相談部会（保健指導・食育・性教育等の系統性、相談体制、SCの効果的活用） ⑦特活・総合・道徳部会部会
南河内第二中学校区 8 / 6 (木) 14:00 ~ 南河内公民館	班別協議（8グループ 2部制）・全体会 研修内容：情報交換、小中連携して実践できることの確認 I部II部とも50分間ずつメンバーを変えて協議 I部…学習指導・児童生徒指導関係 II部…子ども未来プロジェクトの実施内容について



## 2 中学校区における児童生徒の交流事業の実施

### (1) 南河内中学校区での交流

- ① 小中合唱交流 【10月29日(木)】
  - ・南河内中3年生(3クラス)が分かれて各小学校へ。合唱による交流を実施。
  - ・3年1組→薬師寺小、3年2組→吉田東小、3年3組→吉田西小。
- ② 中学校授業参観(小学6年生児童、保護者にも公開) 【11月14日(土)】
- ③ 新入生保護者説明会(会場:南河内中) 【12月15日(火)】
  - ・小学6年生児童の中学校授業体験～数学・英語・理科の授業を実施。
  - ・生徒会本部役員による小学6年生児童への中学校説明会を実施。
  - ・小学6年生児童・保護者向けの部活動見学を実施。
- ④ 下野市子ども未来プロジェクト活動
  - ・地域美化啓発活動～道の駅しもつけにおいて「ごみのポイ捨て禁止」を呼び掛けるポケットティッシュを配布。 【1月16日(土)】
  - ・下野市教育のつどいにおいて、小学校へ防災ずきんを贈呈。 【1月23日(土)】
- ⑤ 中学生によるあいさつ運動 【12月の毎週月曜日の朝】
  - ・南河内中野球部員と薬師寺小児童がハイタッチで朝のあいさつ。
- ⑥ 南河内中学区児童合唱団練習 【6月～9月】
  - ・中学校の施設を利用し、小学生の合唱練習を実施。(月に数回)



〈小学6年生児童の中学校授業体験〉



〈薬師寺小における合唱交流〉



〈吉田東小における合唱交流〉



〈吉田西小における合唱交流〉

#### 《 成果 》

- ・今年度も子ども未来プロジェクトの活動が加わって、児童生徒の交流は例年以上にさかんになり大きな成果をあげた。
- ・また、昨年度に続いて小学校と連携し、合唱交流を実施することができた。合唱を通して、たいへん和やかな雰囲気の中で交流を深めることができた。
- ・3年目となった小中授業交流は、理科、数学、英語を実施した。児童生徒にとって今年も意義深いものとなった。

#### 《 課題 》

- ・今後も継続していくために、児童生徒の移動における安全確保が課題である。また、小中同士の時間の確保や場所、内容の調整等も難しい。



〈あいさつ運動〉

## (2) 南河内第二中学校区での交流

### ・あいさつ運動

月曜日は二中学生が祇園小と緑小に出向いて小学生と一緒にあいさつ運動を行った。また、火曜日は2つの小学校の児童が二中に来て3校であいさつ運動を行った。この交流は5月～12月まで毎月1回ずつ実施した。



### ・ポスター交流

いじめ撲滅を目指して、小中学校でそれぞれポスターを制作し、交換して掲示した。



### ・小中交流音楽集会 11月5日(木)

南河内第二中合唱コンクールで金賞・銀賞になった3年生と2年生の4学級が、2学級ずつ祇園小と緑小に出向き、合唱を披露した。司会進行は、小学校の児童が行い、小学校の選抜合唱団の歌の披露やインタビューなどが行われた。また、全員で合唱も行った。



〈小学生の合唱〉



〈中学生の合唱〉



〈全体合唱〉

### ・二中地区クリーン活動 11月19日(木)

児童と生徒と一緒に地域内の公園や通学路の清掃を行った。



### ・新入生学校説明会 12月10日(木)

祇園小と緑小の6年生、保護者を対象に二中体育館で生徒の手による中学校の説明会を開催した。学校の説明後、児童は中学2年生と一緒に授業体験を行った。



〈歓迎の合唱〉



〈劇～学校生活〉



〈授業体験〉

### 《成果》

- 中学生は先輩としての自覚が深まり、自己有用感が高まった。小学生の高学年は中学校の理解が進み、中・低学年は交流自体を楽しむことができ、お互いにより影響を与え合った。
- 小中交流が進み、生徒と児童の和やかな雰囲気がつくられ、情操教育の一助となった。

### 《課題》

- 事前の準備がとても大切であるが、時間、場所や内容の調整が難しい。また、教員同士でも認識の違いや指導の差が生じていて、細かいところで課題が残った。

### (3) 石橋中学校区での交流

「入学説明会」では中学1年生が6年生及び保護者に対して歓迎の合唱を披露した。また学校行事や部活動・生活の決まり等についてスライドを使っての説明を行った。その後、中学1年生と6年生で合同の授業を行った。

「児童・生徒交流会」では、お互いの学校の情報交換やクリーン作戦についての打ち合わせなど活発な意見交換を行うことができた。

「あいさつ運動」では、中学生が登校時間に出身小学校を訪れ、あいさつ運動を展開した。小学校の児童と共に、校門や昇降口で、登校してくる児童や地域の方々に元気よくあいさつをした。

「クリーン作戦」では、中学生が出身小学校を訪れ、小学生とともに小学校の校舎や地域の公園の清掃を行った。



入学説明会 歓迎の合唱



入学説明会 合同授業



児童・生徒交流会 アイスブレイキング



児童・生徒交流会 意見交換



あいさつ運動



クリーン作戦

#### 《成果》

- ・小学生は、中学生が優しく親切に対応してくれたことに安心感を得ていた。
- ・小中学生合同で授業を行うことで、小学生は中学校の授業を体験し、教科担任制の授業を実感することができた。
- ・中学生は6年生に対して「学校案内リーフレット」を作成し、入学説明会において配付した。そのことにより先輩としての自覚が芽生えた。また、表現する力の向上につながった。
- ・さまざまな活動を通して、小学校と中学校の絆が深まった。

#### 《課題》

- ・1年生の授業だけでなく、2・3年生まで交流の幅を広げられると良いと感じたが、実際は小中学校間の時間や場所、内容の調整が難しい。また、部活動は自由に見学できたが、体育館や武道場は使用できず、一部の部活動しか見学することができなかった。
- ・クリーン作戦や児童生徒交流会は初めての試みであったので、本年度の反省を生かして次年度につなげていきたい。
- ・小学校から事前に希望を聞いて、小学校のニーズに合わせた計画を立てられると良い。

#### (4) 国分寺中学校区での交流

- ① 6/22 (月)：国分寺小音楽集会参加 (国分寺中3年生による合唱発表など)
- ② 6/23 (火)：国分寺西小音楽集会参加 (国分寺中2年生による合唱発表など)
- ③ 6/23 (火)：国分寺東小音楽集会参加 (国分寺中2年生による合唱発表など)
- ④ 8/18 (火)：下野市子ども未来プロジェクト活動 (国分寺中)  
ワークショップ、今後の交流についての話し合い (児童・生徒代表者)
- ⑤ 11/30 (月)：下野市子ども未来プロジェクト活動 (国分寺小)  
共同清掃活動、お楽しみ交流会 (生徒会役員による交流)
- ⑥ 11/30 (月)：下野市子ども未来プロジェクト活動 (国分寺西小)  
共同清掃活動、お楽しみ交流会 (生徒会役員による交流)
- ⑦ 11/30 (月)：下野市子ども未来プロジェクト活動 (国分寺東小)  
共同清掃活動、お楽しみ交流会 (生徒会役員による交流)
- ⑧ 12/10 (木)：新入生オリエンテーション (国分寺中へ各小学校の6年生が来校)  
生徒会本部役員による新入生への中学校説明会  
小学6年生児童・保護者向けの授業体験や部活動見学・体験など
- ⑨ 国分寺小・国分寺中合同による朝のあいさつ運動 (月に1度・火曜日から金曜日の4日間)



〈国分寺東小における合唱の発表〉



〈国分寺西小における合唱の発表〉



〈子ども未来プロジェクトの清掃活動交流〉



〈新入生オリエンテーション体験授業〉

#### 《成果》

昨年度より子ども未来プロジェクトの活動が加わって、児童生徒の交流はますますさかんになり大きな成果をあげた。また、今年度は中学生が授業の一環 (家庭科) で「防災頭巾」を作成して学区の小学校に送ることができ、日頃の交流とはひと味違った交流が実現してよかった。

#### 《課題》

今後も継続していくためには、小中同士の時間の確保や場所、内容の調整等が難しい。また、児童生徒の移動における安全確保も課題である。〈小学生の授業体験、合唱発表等〉